

特集

『お葬式』

最近、亡き人とお別れの儀式である『葬儀』本来の意味を、勘違いしている人が多いのではないのでしょうか。

現代の情報社会化により、葬儀社先導による一部の葬式形態「葬る(遺体を火葬すること)」だけを優先して、古来から伝わる「弔う(遺族を慰めて、故人の霊をなぐさめ供養すること)」を忘れていきます。遺族にとって愛する人と別れる「愛別離苦」の悲しみの中、気が動転したり何をしたらいいかわからないままに、葬式の準備が進んでいくのが現状です。

葬儀とは、この世における故人と惜別し永遠の世界に送る人生最後の重要な儀式です。故人の冥福を祈るとともに、故人を送る人々が死と向き合うことによって「いのちの尊さに芽生え、悔いのない人生を送ること」を学ぶ大切な機会です。



お釈迦さまは、お亡くなりになる前にクシナーラの村に着くと、弟子の阿難尊者に沙羅双樹の間に頭を北に向けて床を用意するように言います。そして、悲しむ阿難尊者に「泣くのはやめなさい。阿難よ、汝はわれに侍して以来、身と口と意に慈を行ってくれた。尊者がわたしを供養した功德ははなはだ大きかった。他の人の及ぶところではなかった。尊者よ、汝はただ精進し、そうすれば久しからず成道するであろう。」(長阿含経)とあり、『諸行は無常なり、諸法は無我なり、涅槃は寂静なり。』と最後に述べられた後に安らかにお亡くなりになりました。

臨終を迎えて末期の水・北枕・湯灌・紙華花・死に装束・納棺・通夜などは、お釈迦さまの死の迎え方が現在のお葬式の原形になっております。



臨済宗では、生前に戒名を頂き(授戒会)仏教徒として、ふさわしい生き方をするのが本来です。然し、故人が受戒をし、引導を頂いて最後のお別れをする儀式を『葬儀』といいます。

亡くなった人を「葬る」だけではなく「弔う」気持ちを持って、お釈迦さまの教えを実践していただくことが、故人・御先祖さまのご恩に報いることになり、最善の供養になるのです。

私たちは、《報恩謝徳》の教えを根本に「今、ここに生かされている自分に感謝する」とともに、悔いの残らない葬儀で故人を送りたいものであります。

参考文献

ブッダの生涯とのおしえ 技秀社 / 臨済宗 仏事のこころ チクマ秀版社

発行者 愛知西教区花園会 宗務所 名古屋市中区栄3-25-18 白林寺内
愛知西教区花園会のホームページ <http://aichi-west.jp/hanazono/index.html>

おかげさま

「東日本復興へのお手伝い」



去る平成23年3月11日に起こりました「東日本大震災」から1年がすぎました。死者15,854名、行方不明者3,155名(H24,3,12の中日新聞記事)。花園会員様も1,000名に及ぶ死者・行方不明者がでました。会員の皆様には、妙心寺派花園会、赤十字社、新聞社、報道機関などを通じて義援金、見舞金の寄付。また、現地に物資の提供、実際に現地に出かけてのボランティア活動などにご参加戴いております。あらためて皆様のご協力ご支援に厚く御礼申し上げます。



愛知西教区の取り組み

1、義援金・見舞金の御願い

- ◎平成23年3月17日 教区花園会会長、宗務所長、教化主事が中日新聞社を訪れて教区花園会より50万円の義援金を委託しました。
- ◎4月5日、12日の両日 青年僧の会は名古屋市内にて義援托鉢を行い30名が参加をし、30万円の募金をいただき、中日新聞社に委託しました。
- ◎各寺院を通じて花園会員の皆様、地域の皆様に義援金の依頼を御願ひし、各寺院より花園会本部に送金していただき、正法輪(妙心寺派寺院の機関紙)に掲載されました。
- ◎花園会女性部研修会、第56回花園会愛知西大会にて参加者の皆様に義援金を御願ひしましたところ、女性部研修会では38,800円、第56回花園会愛知西大会では267,693円のご協力をいただきました。
- ◎花園会員の復興支援の為に花園会災害見舞金をお願いしております。



2、災害ボランティアに参加



9月5日から9日までの5日間(移動が2日間・夜行高速バス)愛知西教区より所長を中心にして6名が参加しました。

(報告文) 私達の活動先は、松島・観音堂より30分ぐらい行った被災地(東松島)で、側溝の整備と被災住民宅辺の草刈作業でした。1日目は草引き作業でしたが、2日目からは草刈機を使っての作業でした。混合油と缶を購入し、現地へ寄進してきました。握力が無くなり腰も痛く、普段やり付けない作業を魂詰めてやったためクタクタになりました。現地は想像していたより片付いた感じでしたが、被災住宅や瓦礫が残され、どこから手を付けてよいのかと思わんばかりの光景、墓地も墓石がひっくり返ったままの状態でした。全員で諷経をし、菩提を弔ってまいりました。現地で顔を見た人には声を掛け、傾聴もしてまいりました。



〔編集子〕

教区花園会会頭挨拶

武山 廣道



花園会会員の皆様にはご壮健でお過ごしのこととお喜び申し上げます。昨年の大震災以来、家族・地域社会との絆が見直されています。自分自身を内に向かって探ってみると、我々の日常生活は、家族・会社・学校・近所などご縁のある人、モノの「おかげ」で成り立っています。又、必要以上に外に求める生活を見直す傾向にあります。現在のままで充分である『知足』の生活、贅沢な生活から降りる勇気を自ら行じていく時です。常に『報恩感謝』の気持ちを忘れず、日暮らしが出来たらと願っています。生かされている「いのち」に目覚め、他人まかせでなく自身が行じていく生活。何事にも率先して実践していきたいものです。

大本山妙心寺のご紹介

妙心寺 浴室(重要文化財)



切妻造瓦葺の蒸風呂。通称「明智風呂」。三門の東にある。

天正十年(1582)織田信長を討った光秀は自害を覚悟したが、光秀の叔父であり妙心寺塔頭太嶺院(たいれいいん)の開基でもある密宗(みっそう)和尚は、それをとどめた。光秀の没後、密宗和尚は光秀の菩提を弔うため天正十五年(1587)に風呂を建て、人々に施した。現在の建物は明暦二年(1656)に建てられたものである。入口正面には跋陀婆羅尊者(ばったばらそんじゃ)の画像が祀られており、中央戸口の棧唐戸(さんからど)の上に蓼股(かえるまた)を備え、内部は唐破風(からはふ)を備えた蒸風呂の浴槽と洗い場などがある。



★ 教区名刹のご紹介 ★

景德山・永泉寺

所在地：犬山市字裏之門238

永泉寺の詳らかな創立は不明である。往時、「当地に一字の寺院が存在したと伝えられるも、寛正2年(1461)兵火のため焼失した」とされる。天文元年(1532)、岐阜・大寶寺より泰秀宗韓禪師が移って建立、野呂長者惟久公を開基とし、開山には師匠の興宗宗松禪師を勧請し自らは創建第一世となる。当時、織田信長公は幼少から青年期に恒って実母・土田御前の生地・可児、あるいは伯父の住む犬山辺りまで遠駆けした途中当寺に足を運び泰秀和尚の教えに感化を受けた。信長公は、門前の大木に馬の轡(くつわ)を結わえ、枝ぶりの良いその松を「傘松」と謂い、境内の池を「湖山水」と名付けたという。信長公は帷幕の師、平手政秀の菩提を弔って当山二世・澤彦宗恩禪師を請じて小牧の小木に政秀寺を開いた。



後、不幸にして小牧長久手の戦いの折り、楽田の地は豊臣秀吉の最前基地となり、兵火によって焼失、宝物や記録文書も失った。その後、法源寺院として整備が進み、徹源祖侃禪師(後藤又兵衛の子といわれる)が政秀寺から移錫した。江戸時代にあっては、尾張藩主の参勤交代の途次の休息所となる。また、岐阜・大寶寺と共に派中の住職就任人事などに関与して取次寺院となり、名古屋・政秀寺一派の法源寺院として派内に重きをなした。

第57回 花園会愛知西教区大会



林 学道師

日時：平成24年10月26日(金)午後1時より

会場：名古屋市東区 徳源寺

講師：花園会本部長 林 学道師

筑前琵琶奏者 田中旭泉氏



田中旭泉氏

平成24年度花園会推進テーマ「行ずる」サブテーマ「生かされている自分を感謝し、報恩の行をつみましょう」。花園会本部長・林学道師をお迎えして記念講演、また、特別演奏会として筑前琵琶奏者・田中旭泉氏の演奏を予定しております。

花園会愛知西教区大会は、教区内を4地区に分けて各地域において開催をしております。花園会員様の研修を通じて仏教徒の自覚をお持ちいただき、会員相互の同信同行の心を養っていただく良き機会になると信じております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

◎ 「花園会」命名の由来 ◎

本山開基(お寺を開いた時の支援者)花園法皇さまの御宸翰(天子の直筆の文章)の中に「禅による大安心を得られた恩徳に報謝し、この仏法を興隆したいという志は寝ても覚めても忘れたことはない」と書かれてた救世の精神。この精神が妙心寺派の教えの源泉であり、檀信徒の師表であります。そうしたことから、妙心寺派檀信徒の会に「花園」の名前をいただきました。

平成24年度 花園会・無相教会 行事予定

4月20日(金) 花園会本部長・支所長会 於 名古屋都市センター	10月16日(火) 教区花園会運営委員会 於 名古屋
6月6日(水) 愛知西連合会 発展拡充講習会 7日(木) 愛知西連合会 奉詠大会 於 江南市民文化会館	10月26日(金) 第57回花園会愛知西大会 於 名古屋・徳源寺
6月29日(金) 花園会本部・新亡供養 於 本山	11月10日(土) 花園会寺院役員研修会 ～11日(日) 於 本山
8月24日(金) 花園会夏季講座 ～26日(日) 於 本山 花園大学	11月13日(火) 第62回全国奉詠大会 ～15日(木) 於 和歌山
9月27日(木) 教区花園会女性部研修会 於 宗務所	平成25年 3月26日(火) 花園会少年少女研修会 ～28日(木) 於 本山
10月5日(金) 花園会・長崎平和祈念法要 ～6日(土) 於 長崎市	